



KASHIMA 男女共同参画「フォトコンテスト」受賞作品介绍

あらゆる分野で互いが認め合い、年齢・性別に関わりなく誰もが生き生きと活躍できる社会の実現を目指し、男女共同参画の意識を広く浸透させることを目的として、フォトコンテストを開催しました。数多くの応募の中で受賞された作品を掲載します。



市長賞

テーマ
「支え合う 家庭も地域も これからも」

◀ タイトル:お姉ちゃん大好き

<応募者のコメント>

お姉ちゃん LOVE な弟。お姉ちゃんも弟の面倒を良くみてるようになりました。これからも支え合って仲良く成長して行ってほしいです。

▶ タイトル:今年は3人で

<応募者コメント>

今年は姉弟3人で遊んだ夏。末っ子は生まれて初めて見る畑で採れたでっかいスイカに興味津々でした。



優秀賞

優秀賞



◀ タイトル:鹿島線ホームにて

<応募者コメント>

パパとの夏休みの思い出。ドキドキしながら電車を待っています。

▶ タイトル:大好きないとこと一緒にわっしょい!

<応募者コメント>

いとこは去年娘が着ていた衣装を、娘は息子のを、息子は新調。自分達もそうだったように、こうやって続いていくんだね。君たちの成長が楽しみ!



優秀賞

「地元企業・団体・個人事業主との人材マッチング交流会」

開催日：R5.10.13 @アジュール鹿嶋

自分らしい働き方、探してみませんか？

第1部トークセッション

「自分らしく働くために

～起業から見える私の生き方～」



△ 第1部トークセッションの様子

県内で起業する登壇者のお話に参加者は熱心に耳を傾けていました。

<登壇者>



宇野 則子氏

仕事と子育てを両立できるよう、リスク管理と事前準備を大切にしてきた。自分の本心を聞きながら、自分にできることとやれることを見定め、世の中の課題を仲間と共に解決しようと社会貢献活動のNPOを立ち上げた。

高橋 美紀氏(コーディネーター)



高橋 貴子氏

1度きりの人生だから、「まずやってみる」という気持ちで挑戦してきた。自分の中で目標と目的を明確にすれば、方向転換しながらでも夢に近づけると思う。

第1部の様子は
こちらからご覧
いただけます。



第2部 事業者紹介 第3部 フリータイム(事業者との交流会)



△ 第3部フリータイムの様子

企業8社、4団体、個人事業主3社、3官公庁の計19事業者が出店し、参加者からの業務内容などについての質問に応じました。

<参加者の声>

- ・自分の起業内容に近い事業所の方のお話が聴けて、より自分に必要な事が分かった。
- ・自分のやりたいことが明確になった。
- ・起業をするにあたっての心構えが聞けて、今後の参考になった。
- ・気になったことや不安に思うことなど、質問できて直接返してくれる時間をもてたことが良かった。など

「中学生のキャリア形成授業」

開催日：R6. 2. 22 @鹿島中学校

将来、自分らしく充実した人生を送るため、性差や固定観念によらない職業選択について学ぶ授業を、茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」と実施しました。



△ゲストティーチャーへのインタビュー

<ゲストティーチャー>

武知 健人さん

株式会社鹿島アントラーズ経営戦略チーム

小林 千尋さん

日鉄スラグ製品株式会社 本社(東京)勤務

<武知さんのお話より>

自分の決断を大事にしてほしい。周囲の意見も選択の基準の一つとして持つておくことは良いが、最終的には、自分が後悔しない道を。それが自分のやりたいことにつながっていくと思う。

<小林さんのお話より>

仕事ができるのも家族の協力があってこそ。家庭とのバランスを大切にしている。

選択肢は一つではないし、社会環境も変わっていく。視野を広げて色々な事に挑戦し、変化に柔軟に対応できる力を身に付けてほしい。

<生徒の感想より>

・仕事をするにあたって、テレワークなどいろいろな働き方があるということがわかりました。

・個性や自分らしさを大切にという部分が心に響きました。

・経験した仕事は次の仕事にも活かすことができるということを知り、将来に活かしていければいいなと思いました。



△コーディネーターによるまとめ

キラキラ人

見つけた!

ご夫婦で鹿嶋市に移住して16年、お2人ともプロのボディボーダーとして、一緒に練習に励む日々。また、好きなことを仕事にして、生き生きと働きながらも、市のスポーツ推進審議会委員として地域に貢献する瀬川 美枝子 さんにお話を伺いました。

せがわ み え こ

◆ 瀬川 美枝子さん(フィットネスインストラクター / JPBA 公認プロボディボーダー)

一般社団法人ビーチマリンスポーツコミュニティ 代表
年1回平井海岸でこどもボディボード体験教室を開催



Q 元々はつくば市に住んでいたという瀬川さん。鹿嶋市に移住したきっかけは？

移住する前から鹿嶋の海の波が好きで、夫婦でボディボードの練習で頻繁に通っていたんです。結婚を機に夫婦で話し合い、仕事とボディボードの練習の両立を考え、「鹿嶋で新たな生活を始めたい」と思い引越してきました。

鹿嶋の海は海岸線も美しく、年間を通してコンスタントに波があります。また、鹿島神宮をはじめ自然を身近に感じられたのも、とても魅力的でした。

Q ご夫婦で同じ競技のプロ選手、お互いを尊重し合い、良い関係性を保つために心がけていることは？

例えばちょっとした事で険悪なムードになることもごくたま〜にあるのですが、2人でボディボードをしていると気づいたら笑顔になっています(笑)

ボディボードやサーフィンって、約束をすることももちろんありますが、海に行くと同じビーチに通っているうちに自然と友達になった方たちに自動的に会えたりするんですよね。海の中で主人がそのような方に話しかけられることがよくあり、波待ちの間コミュニケーションをとっています。私は海の中では割と集中していて、海から上がってくるとお喋りに参加します(笑)

Q 仕事を始めたきっかけは？また、やりがいを感じる時はどんなときですか？

元々身体を動かすのが好きでしたが、友達に誘われて初めてエアロビクスを体験した時にすごく楽しくて「これだ」と思ったのがきっかけです。

この仕事の魅力は年齢問わず色々な方とふれあえること。そして、レッスンを受けに来てくださった方と一緒に、身体を動かす楽しさを共有できることです。

「楽しかった」「すっきりした」「この歳になってこんな楽しい世界があるのを知ることができて嬉しい」などとお声をいただいた時や、皆さんの顔がふわあーっと笑顔になった時は、やっぱり私はこの仕事が大好きだと実感します。



△みんなのスポーツフェスタでの様子

Q 市のスポーツ推進審議会委員としてもご活躍されている瀬川さん。最後に鹿嶋市への思いや今後の展望などをお聞かせください。

私が鹿嶋市に来て16年が経ちます。私をたくさん笑顔にしてくれているこの地で、健康促進やフィットネス活動を通じて、今後も地域の皆さんが笑顔で過ごせる場を提供していきたいと思っています。

フィットネスインストラクターという仕事は自分でスケジュールを組んだり、調整できるので、子育て世代の方でも働きやすい職種の一つだと思っています。この仕事の魅力を広く伝え、もっともっとフィットネスインストラクターを増やしたいと思っています。

また、主人と長くボディボードを楽しむこと、ボディボードの楽しさを伝えていくのも夢の一つです。

鹿嶋の魅力や仕事への思いをお話してくださった瀬川さん。ありがとうございました。

ダイバーシティについて考えよう

気づいていますか？あなたの^{なか}中の^{おも}思い込み

※ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」のダイバーシティ&インクルージョン啓発チラシから抜粋したものです。



どんな人を想像しますか？

保育士は女性、白バイ隊員は男性と思いませんか？

Point

性別に関わりなく様々な職業で活躍している人がいます。



育児をするのは母親、ネクタイをするのは男性と決めつけていませんか？

Point

家庭内での役割や、何を着るかも人それぞれです。



パソコンを使うのは「若者」、カップルは「異性同士」と決めつけていませんか？

Point

得意なことや好きになる性も人それぞれです。



このような思い込みを無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)といいます。ダイバーシティ&インクルージョンとは、一人ひとりの違いを認め、受け入れるという考え方です。誰もが自分らしく生きられる社会にするため、決めつけたり、押し付けたりせず、相手を尊重することが大切です。

やってみよう！

公開中

WEB ゲーム

「ダイバーシティへの旅 2024 ～七つの島の番人～」

ダイバーシティ&インクルージョンについて楽しく学べるWEBゲームです。スマホ、タブレット、パソコンからプレイできます。



※茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼらりす」が作成したものです。

わが家の「家庭の仕事」 バランスチェックシート

自分の家の「家庭の仕事」やそのバランスについて、WEB上で色ぬりをしながら調べてみよう。



編集・発行課

鹿嶋市男女共同参画推進委員会(地域づくり推進課)

〒314-8655 茨城県鹿嶋市大字平井1187番地1 TEL:0299-82-2911